



同友しずおか



特集

- ・ 県代表理事 年頭所感
- ・ 伊東支部設立20周年記念式典
- ・ 静岡県と藤枝市で中小企業振興基本条例可決！
～条例制定は新たな地域づくりのスタート～

会員訪問記

土屋 恵理子氏 (株)スギナシステム・三島支部
山下 佳敦氏 (有)山下オート商会・榛原支部

シリーズ

委員会・部会通信 北條 由美子氏 (有)伊東住設・女性経営者交流会会長

その他 主な内容

同友会大学卒業式、同友会大学第5・6講座、支部だより、静岡大学連携講座、
新入会員・名義変更紹介、友達の輪

平成28年度 重点課題

- ① 経営指針の成文化率を高め、人を生かす経営の実践で、同友会型企业づくりを進めます。
- ② 中小企業憲章の精神をいかした中小企業振興基本条例の制定をめざします。
- ③ 早期に1200名会員を達成し、地域の活力を生み出す活動を推進します。

年頭所感

代表理事 藤原 博美 (株)日本ベルト工業



明けましておめでとうございます。初春の候、皆様方に幸多かれとお祈り申し上げます。

申年で始まった昨年を振り返りますと、実に様々なことが国内外でありました。

日銀は、マイナス金利政策を実施。北朝鮮では、数度に及ぶ、長距離弾道ミサイル発射。先進国首脳会議・伊勢志摩サミットの開催。EU離脱か残留かでイギリスが国民投票を行い、EU離脱を選びました。熊本地震では、東日本大震災を思い起こし、被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。ここでも同友会の連帯の強さが発揮され、全国の仲間から応援の手が挙がりました。東京都知事選挙では、逆境を跳ね返して小池百合子氏が当選、問題山積みの船出となりました。リオデジャネイロオリンピックでは、

日本選手の大活躍でメダル獲得最多。大リーグのイチロー3000本安打達成。ノーベル医学・生理学賞を大隅教授が受賞。韓国では、朴槿恵大統領が弾劾裁判。アメリカでは、トランプ大統領誕生。不安と期待が入りまじった、各国首脳の言葉となりました。

静岡同友会の活動に目を転じると、確かな歩みがありました。現在、最高会勢を更新中で1049名。(過去最高1033名) しずおかプラス1をはじめ、三島、沼津、浜松支部がイントロセミナーを開催。また、各支部例会ではオブザーバーを招き、確実に会員を増やしています。全国的な流れの中で青年部も立ち上がり、元気に活動を始めワクワク、ドキドキしています。今年度中に、1100名。2017年度は、1200名。2020年ビジョンには、1500名を掲げています。

経営指針を創る会、食と農研究会、地球環境研究会、景況調査、人を生かす経営、女性経営者交流会、静岡大学連携講座、など様々な活動が会内外に認められています。他団体とも連携し活動を広めていく事は、地域とともに歩む中小企業だからこそです。

全国の同友会が進めていた「中小企業憲章」が閣議決定され6年が経過しています。毎年6月には、キックオフ集会が開かれ、中同協役員や各県の代表理事・政策委員の皆さんが参加し、国会議員の方々と、憲章推進や具体化について意見を交わしています。中小企業に光が灯ったという気がしてなりません。「中小企業振興基本条例」の制定と推進に向けて、検討会議や振興会議等で同友会のメンバーが活躍しています。昨年12月には静岡県で制定されました。県下では、富士市、富士宮市、磐田市、三島市、藤枝市が制定、沼津市が今年度中に議会を通過する予定です。御殿場市、牧之原市も動き始めています。

中小企業向けの各種補助金、制度融資、支援策など経済活性化策が講じられていますが、ハードルが高すぎるという意見もあります。中小企業が挑戦できる環境を整えるためにも、中小企業憲章、中小企業振興基本条例制定が不可欠です。経営指針を事業活動の基本に置き、しっかりとした企業づくりに専念するのも我々の役目です。車の両輪として捉え、お互いに切磋琢磨して、地域に根差した活動をしていきましょう。

同友会理念とは、「同友会の3つの目的」「自主・民主・連帯の精神」「国民や地域と共に歩む中小企業」です。その中の3つの目的とは、「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」です。今、静岡同友会は、変革の時を迎えています。原点に立ち返って、温故知新の精神を忘れず、老若男女の経営者が経営のノウハウを出し合って、3つの目的の実現に向けて、今年も元気よく活動していきましょう。

伊東支部設立20周年記念式典

2016年12月8日(木) ラヴィエ川良 参加67名



伊東支部では設立20年を記念して記念式典が開催されました。当日は伊東市長様はじめ、国会議員、他団体関係者、他支部会員から総勢67名が参加くださいました。



伊 弘巳市長

記念式典は守谷匡司氏(株)祇園・伊東支部長)の挨拶後、来賓の皆様からご祝辞を頂きました。また藤井正春氏(藤井労務管理事務所・伊東支部)と支部設立に尽力された土屋廣実氏(株)セーフティ・御殿場支部)から「支部20年の歴史・歩

み」を語って頂きました。記念講演は「実例から学ぶ事業承継の注意点」をテーマに清水至亮氏(静岡県事業引継ぎ支援センター)が登壇。中小企業の課題の一つである事業承継について講演頂きました。



清水 至亮氏

その後の懇親会では終始和やかな雰囲気での交流を行いました。壇上では各支部長から次年度全県経営フォーラム伊東支部設営にむけて「東部一体となって成功に導こう」と力強い言葉も聞かれました。さらなる伊東支部の飛躍にむけて同友会の結束と連帯の輪がさらに深まりました。



来賓の皆様



歴史を継承して、さらなる飛躍を

この度、伊東支部はおかげさまで設立20周年を迎える事ができました。設立にお力添え頂きました御殿場支部の皆様、過日の式典にご参加頂きました皆様、県内同友会の皆様には、心より感謝申し上げます。私自身としましては、そんな節目の年に支部長になりました。これから1年、また1年と積み重ねて行く訳ですが、先輩方が大切にしてきたものを継承しつつ、伊東支部の活動をより活発なものにしていきたいと思っております。

伊東支部は私も含め近年30代~40代の会員が増えましたが、ベテラン会員を含めて様々な知恵と経験を分かち合えるような例会を開催していきたいと思っています。

まだまだ人数は少ないですが、伊東市を含め近隣市町村からも会員を募り、一層魅力ある支部にして参ります。その結果として各事業所の発展と地域経済の発展につながれば何よりです。来年は全県経営フォーラムもごぞいます。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

守谷 匡司氏 (株)祇園・伊東支部長)



伊東経済を底上げする団体をめざす

このたびは、私たち伊東支部設立20周年記念式典・講演・懇親会に県内大勢の方に参加して頂き、誠にありがとうございました。式典や懇親会時に、御殿場支部の土屋氏や田中氏に20年前の伊東支部が誕生した際の話や、当支部の藤井監事から色々なエピソードを報告頂き、初めてどのような形で設立したかを知りました。今、伊東支部では若いメンバーが増えてきておりますが、御殿場支部のお力あつてのことを忘れず、会員・異業種を更に増やしていき、30周年記念の頃には伊東の経済を底上げするほどの団体と呼ばれるくらいに組織を大きくしていきたいと思っております。

私個人としては、多くの方と交流を持つ中で、心機一転、以前より少しずつ進めている新規事業に力を入れ、同友会での学びを実践しながら更に自社を発展させることを決意しました。

今後の伊東支部の成長のためにも、多くの皆さまからのご指導ご鞭撻いただけますようお願い申し上げます。

土屋 順史氏 (株)土屋装飾・伊東支部 20周年実行委員長)

静岡県と藤枝市で中小企業振興基本条例が可決！

～条例制定は新たな地域づくりのスタート～

2016年12月21日（水）静岡県議会定例会で「静岡県中小企業・小規模企業振興基本条例」が、19日（月）には藤枝市議会定例会で「藤枝市地域経済を支える『がんばる中小企業』振興基本条例」がそれぞれ可決されました。

中小企業家同友会全国協議会（中同協）では、2003年7月の定時総会において、中小企業憲章と中小企業振興基本条例の制定運動に取り組むことを活動方針に掲げ、憲章の学習運動と制定をめざす総合的な運動を全国的に展開してきました。この運動は大きなうねりとなり「国を動かし、地域を動かす」運動に発展し、憲章の閣議決定（2010年6月）、全国各地での条例制定の成果に結びついたと中同協は述べています。

静岡同友会では2008年に中小企業憲章推進本部を組織、県・支部活動で、憲章と条例の学びを深めてきました。本紙でも2008年5月～11年3月にかけて「憲章と私」をテーマに会員35名が、憲章・条例と自社経営の関係を執筆し、連載しました。閣議決定後は毎年6月の憲章月間に併せ、憲章学習会を開催し、会員だけでなく、議員、県・市行政、他団体からも参加頂けるようになりました。また、知事への年始の表敬訪問の際には、代表理事から条例の必要性を伝えながら、毎年8月に行う県経済産業部との意見交換会でも要望を行ってきました。

2014年6月には憲章推進本部と政策委員会が中

心となり、条例ワーキンググループを立ち上げ、1年をかけて県条例草案を成文化、その後、学習運動を経て広く会員から条例に対する期待や意見を集めました。

そして2016年2月には静岡県から条例案作成にむけたスケジュールの説明を受け、同友会の考える条例の在り方、草案の提出、推進会議の設置、実態調査などの要望、会員の生の声を県当局へ届けてきました。県担当者との意見交換を重ね、パブリックコメントを経て、12月の県議会に議案上程され、可決に至りました。

その間にも、県内各市町では条例の制定が進み、条例の素案づくりや制定後の推進会議に会員が携わってきています。

人口流出や少子化問題、事業承継、人材確保、大規模地震などの災害リスクなどの課題が顕在化する中でも、私たち中小企業家は、地域社会の主体者としての気概を持ち続け、地域経済と雇用を支え、持続的な成長と発展をする地域社会の実現をめざすことを忘れてはなりません。

条例制定は、新たな地域づくりのスタートと言えます。



川勝県知事へ知久・藤原代表理事が表敬訪問（2013年）

◆これまでの中小企業憲章・中小企業振興基本条例学習会(県同友会)◆ ※役職は当時

- | | |
|---------|---|
| 2016年9月 | 鎌田哲雄氏（愛媛同友会専務理事）
「人が生きる経営と中小企業振興基本条例で自社と地域の未来を切り拓こう」 |
| 同年6月 | 植田浩史氏（慶應義塾大学教授）
「振興基本条例で、地域、中小企業、そして中小企業振興への考え方が変わる」 |
| 2015年6月 | 米田順哉氏（愛媛同友会副専務理事・NPO法人家族支援フォーラム）
「条例制定で会社が変わる。まちが変わる。」 |
| 2014年6月 | 高野祐次氏（東京都墨田区企画経営室長）
「中小企業振興条例で地域をつくる～墨田区の産業観光施策～」 |
| 2013年6月 | 加藤洪太郎氏（愛知同友会政策委員会副委員長・名古屋第一法律事務所）
「同友会がめざす、よい経営環境」 |
| 同年1月 | 中平智之氏（中同協主任事務局員）
「アメリカ視察から見た中小企業政策と、中小企業憲章の意義」 |
| 2005年4月 | 吉田敬一氏（駒沢大学教授）
「中小企業憲章と我が社、我が地域」語り部研修会 |

上記以外にも、全県フォーラム、県総会、周年行事、同友会大学、支部活動等において、県内外の会員や大学教授を講師に迎え、憲章と条例の意義や重要性を学ぶことができました。

経営者の見識を育てる全6講座が修了

2011年第13期以来、5年ぶりの開催となりました。今回は『社会・経済・科学・文化』の全6講座を4ヶ月に亘り、隔週の土曜日午後、時間的ゆとりを持ったスケジュールで開催しました。講師陣は同友会運動の良き理解者のもとより、現下の時代に即した話題の講師もお招きし、各研究家の大局的講義を聴講しました。日本経済・世界経済・超弦理論・イスラム世界・富士山火山災害・地域経済など多岐にわたり、聞いて終わらず、聴講後にはバズセッションを行い、学びを深めました。そして、終了後は講師を交えて交流会も開催するなど、中身の濃い時間であったこととされます。本会の目的である『経営者としての人間力、幅広い知識や見識を育てる』を実感しました。

次年度以降の継続開催も視野に、皆様のご意見、

ご要望を反映した、カリキュラムを検討したいと考えております。来期、多くの受講をお待ちしています。

井上 斉氏 (ワシロック工業㈱・同友会大学運営委員長)



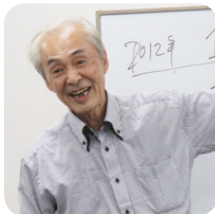
修了式

◆同友会大学 第5講座

「地域特性をいかしたグローバル化の国づくり」

講師：吉田 敬一氏 (駒沢大学経済学部教授)

12月3日 (土) 事務局



吉田 敬一氏

持続可能な地域づくり・会社づくりを目指しての吉田敬一教授 (駒沢大学経済学部教授) の講義は同会を大いに励ましてくれました。無くなったらお客様が困る会社づくりの必要性についての熱心な講義で、心に残ったことがあります。

①経営者同士が共に育つ②経営者と社員が共に育つ③社員と社員が共に育ちあう会社④経営者と社員が会社を共に育てる⑤会社は地域住民 (お客) と共に育つ⑥个性的で元気な企業の集まりが持続可能な地域社会を共に育てる、という提言です。

アベノミクスは地域経済・中小企業にとって蜃気楼、まさかの連続の今日、EU・アメリカの不透明さ、ゼロ金利政策離脱、保護主義等々厳しい環境が続いています。その厳しい環境の中にあって、中小企業の屋台骨は経営指針であり、指針に基づく理念経営の実践が必要であると強調され、元気をもらいました。

勝又 悦朗氏 (静岡支部)

◆同友会大学 第6講座

「世界経済のいま(今)とあす(明日)」

講師：小松 善雄氏 (元立教大学・東京農業大学教授)

12月17日 (土) 事務局

小松善雄氏 (元立教大学・東京農業大学教授) には静岡共学ゼミで教えて頂いており、今回は特に演題の「あす」に注目していました。冒頭、まず (いま) を分析することが大事というお話があり、焦って前めのりの経営になりがちな自分にとって大きな気づきになりました。示唆に富んだ話や資料等、情報満載でしたが、2点紹介します。



小松 善雄氏

まず、経済の実態はラッファー曲線ではなく、貧困層の消費率が80%で富者の消費率は20%以下、これでは経済は成長しないとのことでした。これは中小企業振興基本条例に繋がることで、中小企業が成長して、雇用と給料を増やし、消費を喚起させる、この流れが大事だと思いました。もう1つは、常に時代のトレンドを読む努力を怠らないようにすること。私の会社は今年で25期を迎えました。その間、お客様、仕事の内容はめまぐるしく変わって来ました。自社にとって、重要なことであると再認識しました。最後に「経営者は教養を持て」という言葉が胸にしみました。

望月 省吾氏 (㈱カネキユウ・静岡支部)

静岡大学連携講座「企業経済特論Ⅳ」



第9講 12月7日(水)「1+1=2 100-1=0 100-1=101」
河原崎 哲哉氏 シンコーラミ工業(株)・富士宮支部

企業が求める人材像や、採用面接時に経営者として見るポイントなど、就職を控える学生にとって実践的な内容の講義となりました。失敗やクレームがあった際の対応次第で信頼関係が築けること、問題意識を持ち自らの頭で考え、経験を糧にすることが成長につながることなど、若者の成長を願う経営者の思いを語りました。

第10講 12月14日(水)「オートバイを操る楽しさと自己責任」
太田 誠氏 (有)M.C.S.KURITA・静岡支部

数々のバイクレースに参戦し、優勝経験を持つ太田氏。15歳でバイクに出会い、縁あって会社を継いだことや、二人の子息のイタリアでの武者修行、世界に挑戦し各々が優勝を果たした事例などをベースに「失敗を恐れず挑戦すれば道は必ず開ける」「やりたいという想いが大事、それが仕事になれば最高」と熱いメッセージを伝えました。



第11講 12月21日(水)「ITで地域の企業の役に立つ！中小企業のチャレンジ」
長岡 善章氏 (株)アーティスティックス・沼津支部

ロボットのPepper君も参加した今回の講義。地域の企業を対象に、クラウドやホームページ、人工知能などITで役に立つ自社の取り組みを、学生にも分かりやすく紹介。また、創業支援施設「みらいラボ@ドットツリー」を通じた企業連携や新事業創造の事例や、日進月歩のIT業界において常に新たな領域にチャレンジし続けていることを話しました。

支部だより

静岡例会

創造と挑戦が企業を成長させる

12月13日(火) ベガサート 参加58名

富山達章氏(インタープランニング(有))が「自社のブランディングの挑戦と失敗!!」と題し報告しました。メーカー勤務後30歳で広告代理店に転職、その後独立。静岡市が運営するSOHOしずおかに入居。代表的な実績として「静岡発!ランデヴープロジェクト=東京の有名デザイナーと地場産業が連携して新商品開発をおこなう事業」では、地場産業の新しい活路となす商品開発をおこない、大きな反響を呼びました。又、地域のブランディング事例として「今治タオルブランディングプロジェクト」があります。



バズセッションでは「あなたは何に挑戦していますか?そして一歩踏み出す為に心のブレーキをどの様に外しますか?」をテーマに討論しました。私達は何かに挑戦しようとした時、何か出来ない理由を探し、出来ない自分を納得させようとする事がよくありますが、各テーブルでは参加者の各々が「ブランディングの必要性和挑戦する事の大切さ」を、自社や自分自身の経験を元に活発に話し合いました。

望月 彰三氏 (株)望月US・静岡支部

富士例会

同友会の学びを実践し 良い会社を継続させましょう

12月15日(木) ロゼシアター 参加29名



冒頭、望月静雄氏(望月スレート)から「事業承継する側」、伊藤博之氏(天母鋼業(株))から「事業承継される側」のそれぞれの立場で報告。

その後、前半「あなたの勇退時期は」、後半「あなたにもしものことがあったら」をテーマに、計60分のバズセッションを行いました。各グループで、事業を渡す側、受け継ぐ側と色々な意見が出ましたが、どちらも会社を継続させたい意志が伝わってきました。また「社員に指針や理念を色々な形で伝え続ける事で、社長が居なくなっても会社が迷うことなく継続する」「もしものことがあってもどうにかなるが、自分の考えていることを伝えたいならば経営指針をしっかり作って伝える事」等の意見が挙がりました。

長時間のバズセッションでしたが、沢山の人の意見をまとめていくのが大変だと改めて思いましたが、これからもっと勉強していかなければなりません。バズセッションには同友会の魅力や特徴が詰まっていると感じました。

渡邊 正仁氏 (有)丸之工務店・富士支部

自社ソフト開発の目標に向けて、日々学びを実践

(株)スギナシステム

代表取締役 土屋恵理子氏 (三島支部)

事業内容：要員派遣、ソフトウェア開発、WEBアプリ開発、電子計算室運営管理支援、PC関連サポート

設立：2013年7月

社員数：正規12名、パート2名

入会：2016年3月

所在地：三島市中336-3

TEL：055-971-2088

URL：http://www.sugina.co.jp/index.php

主婦から一転、突然の社長就任

業務改善用アプリケーションの開発や情報技術者の派遣を主として行う(株)スギナシステム。その代表取締役である土屋恵理子氏は、前身の会社の解散を受け、ITの知識が全くない中、急遽その業務を引き継ぐ形で同社の社長となり、悩みながらも社員を導き経営しています。設立当初は社長として元の取引先を回り、会社が変わる事と、以後も変わらず技術者を派遣できる旨を説明するため、一社ごと訪問することから始まりました。当時は経営理念や事業計画も考える余裕もなく、目の前の仕事をこなす事で精一杯でした。季節が変わったことすらわからないくらいだった、と言います。

同友会は「参加するほど得をする」を実感

土屋氏は社長就任から3年、経営者の孤独を強く感

じることがありました。そんな頃に、同友会会員のお店にお客として行くうちに仲良くなり、共通の知人の強い推薦で入会。それまで「経営者は孤独なのでは」とずっと自問していた土屋氏は、多くの会員から刺激、感銘を受け、また同じように悩んでいる経営者に触れ、考えを聞くことで、参加後は必ずモチベーションが上がったそうです。「気づき」は自社に持ち帰り、実践。現在は三島支部の例会企画副委員長として運営にも関わり、同友会は参加すればするだけ得をするを実感している、とのこと。



土屋 恵理子氏 (右)

仲間を得た経営者の新たな決意

「今後は情報技術者の派遣を行いながら、顧客ニーズにあった提案で中小企業のIT化の手伝いを行い、地域貢献をしていきたい」と土屋氏。「関連会社である会計事務所とも共同事業ができ、いずれは自社のパッケージソフトも開発し、販売していきたい」と新たな決意を聞くこともできました。その姿からは、仲間と出会い孤独から解放された土屋氏の、経営者としての新たな覚悟を感じました。

取材・記事：望月 健太郎氏 (有望月新聞堂・三島支部)

福祉車両の困りごとはおまかせください！

(有)山下オート商会

山下 佳敦氏 (榛原支部)

事業内容：自動車整備、販売 中部運輸局指定工場、福祉車両販売、修理・リース 日本福祉車両認定工場、福祉車両取扱士スペシャリスト

設立：1966年5月

社員数：5名

入会：2016年12月

所在地：牧之原市坂部564-6

TEL：0548-29-0230

URL：http://www.yamashitacars.com

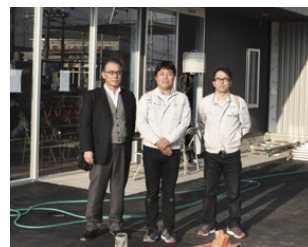
大手参入の中「福祉車両」に活路

静岡空港の南側、赤い進入灯橋梁が間近に見える(有)山下オート商会。現在交差点拡張工事中で、新社屋完成移転を控えた中での訪問でした。祖父が創業し、山下氏は3代目。つくば市でのメーカー研究職、保険会社の営業職を経て昨年7月に入社しました。その当時は、車検の大手が進出してきた時期でもありました。「特色のないままでは売り上げが下がっていく」と危機感を覚え、福祉車両の車検・架装部修理に着手します。それが功を奏し、現在では代車「福祉車両」も3台所有、年40台ほど福祉車両の車検・点検を受注するなど、特に福祉車両の取り扱いに注力するようになってきました。また、福祉車両に特化したレンタカー事業を開始しました。

例会参加即日の

スピード入会決断

山下氏の信条は“良い人と知り合ったらその人について行こう”です。紹介者の河内崇文氏とは2016年10月に出会ったのですが、ほぼ初対面だったにも関わらず、誘われた2日後の例会にオブザーバー



山下 佳敦氏 (中央)

として出席、懇親会で出席者全員に個々に挨拶して、即入会を表明したのです。朗らかで、愛嬌ある山下氏は、すぐに周りと馴染んでしまいます。

見据える先は会社と自分の成長

足の不自由な方が左手1本でブレーキやアクセルを操作できる“ハンドコントロール”という製品を説明していただきましたが、工具不要で簡単に取付けられ、携帯できるすばらしいものでした。

「福祉車両の疑問や困りごとを解決できる、総合的なサービスを提供していきたい。そして、会社を伸ばしていきたい。そのためにも、同友会で自分の足りない部分を補完していきたい」。研究員から自社の未来へ、視線は常に新しい分野を向いています。仕事にも、子育てにも一所懸命な山下氏でした。

取材・記事：増田 正典氏 (静央開発(株)・榛原支部)

取材：今野 英明氏 (光誠工業(株)・榛原支部)

河内 崇文氏 (株)スマートブレイン・榛原支部)

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数1049名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
あきやま 秋山 敦	(株)秋山建設 建設業(工場営繕、住宅新築増改築)	三島	山下直毅
ほそい 細井 崇史	花屋Marley 小売業(生花販売・スーパー卸・プライダル装花・観葉植物・胡蝶蘭)	三島	平亜希子
うえまつ 植松 崇宏	(株)静岡茶通亭 製造・卸売業(緑茶・茶関連商品の製造・販売 全国の有名店との共同開発によるギフト商品の製造・販売)	沼津	小松寛
ひこさか 彦坂 貢	オフィス東光 不動産業(宅地建物取引士、競売コンシェルジュ)	富士	前島章則

■名義変更による新名義人(敬称略)

氏名	社名	所属支部	旧名義人
つじむら 辻村 一宏	カツマタ自動車販売(株)	榛原	鈴掛清

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」にアップします。e.doyuからのご確認をお願い致します。

友達の輪 第34回

原田昌樹さんからご指名を賜りました、浜松支部の永田晃士と申します。浜松市東区で「浜松鑑定団」というエンターテイメントリユースショップを営んでおります。弊社では、主にゲームやマンガ、トレーディングカードやファッション古着などなど、エンターテイメント系の商品を中心に買取と販売を行っております。

入会のきっかけは、オブザーバーとして参加した浜松支部の例会でした。そこで経営指針を創る会の話聞き、創る会に参加するために入会を決めました。

先日、半年間に亘った経営指針を創る会 第13期が修了しました。経営理念、経営方針、経営計画を策定し、ついに新たなステージへのスタートラインに立った心境です。

同友会入会以前と比べ、職場の仲間から言われた私の3つの変化をお伝えさせていただきます。

- ① 優しくなった(社員のことを本気で考えるという同友会の気風のおかげです)
- ② 話を聴くようになった(例会や創る会で学ぶ姿勢それ自体を学んだのおかげです)
- ③ 「なぜ」を問うようになった(目的の大切さはどの会でも学ばせていただきました)

これだけ見ると素晴らしい人間になったように感じますが、実際はこれまでがあまりにも未熟過ぎて、やっと自分を知ることができたという程度です。そう気づかせてくれたのも、同友会の先輩や仲間です。本当にありがたく、今後とも勉強させていただきたいと思っております。

次回は増田貴士さん(増田工業(株)・榛原支部)です。増田さんとは創る会13期の同期で、一泊研修でも同室でとてもお世話になりました。真面目でユーモアセンスもある方です。

増田さん、よろしくお願い致します。



永田 晃士氏

永田 晃士氏 (株)ウィリングネス・浜松支部

委員会・部会通信 第9回

皆さん、女性経営者交流会が静岡にある事、御存知ですか?新しく同友会に入会された方等、知らない方も多いと思います。もっとアピールをしなくてはいけないと感じていた、今日この頃。この紙面をお借りして、御紹介させていただきます。

女性経営者交流会では、今年は静岡全支部の女性会員を対象に、年会費を皆さんから頂き、定期的に色々な内容、趣向を凝らしての会を開催し、交流を深めてきました。今は静岡中心の開催になってしまい、会員数もなかなか伸び悩んでいます。どんな会かな?と思う方は、オブザーバーとして参加も出来ます。これからは色々な支部での開催を目指していきたいという意見も出ています。それ

女性経営者交流会

には、やはり会員の増強が課題となります。会社の中で、女性には女性にしか言えない悩み等、いっぱいあると思います。私もあります。そういう事を気兼ねなく話せる場があったら最高ではないかと思います。そして一人、二人と同友会以外の女性経営者の方達も参加して頂き、同友会の増強に繋がれば嬉しいです。歴代の会長にもご相談させて頂き、皆さんにも協力をお願いし、これからの会を盛り上げていきたいと考えています。女性経営者交流会の予定をe.doyuに配信させていただきます。女性会員中心に活動していますが、全会員が参加出来ます。是非、皆さんご参加ください。これからも、どうぞよろしくお願い致します。

北條 由美子氏 (南伊東住設・女性経営者交流会会長)

お問い合わせ・参加申し込みは、同友会事務局まで! TEL:054-253-6130

同友会 三つの目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。